

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年7月10日公表

農業経営統計調査

平成17年産 大豆生産費（九州）

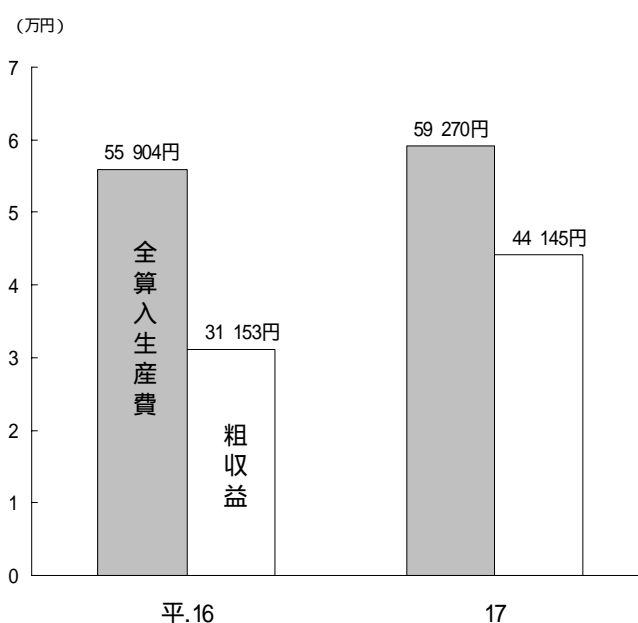
10a 当たり全算入生産費は6.0%増加

調査結果の概要

1 九州地域における平成17年産大豆の10a 当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」といいます。）は5万9,270円で、前年産に比べ6.0%増加しました。

2 10a 当たり粗収益は、4万4,145円で、前年産に比べ41.7%増加しました。
これは、前年に比べ収量が増加したためです。

図1 全算入生産費と粗収益（10a 当たり）



平成17年産大豆の生産費及び収益

区 分		10a 当たり	
		実 数	対前年増減率
		円	%
生 産 費	物 財	30,895	0.2
	労 働	14,328	11.2
	費 用 合 計	45,223	3.4
	全 算 入 生 産 費	59,270	6.0
収 量	192 kg	88.2	
粗 収 益	44,145	41.7	

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

本統計における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P6に掲載しています。

解 説

1 生産費

10a当たり生産費の費用合計に占める主な費目の割合は、賃借料及び料金が最も高く、次いで労働費、農機具費、農業薬剤費の順となっています。

(1) 賃借料及び料金

賃借料及び料金は1万6,769円で前年産に比べ955円(6.0%)増加しました。

これは、収量の増加に伴い乾燥・調整のためのカントリーエレベータの利用料金が増加したためです。

(2) 労働費

労働費は1万4,328円で、前年産に比べ1,442円(11.2%)増加しました。

(3) 農機具費

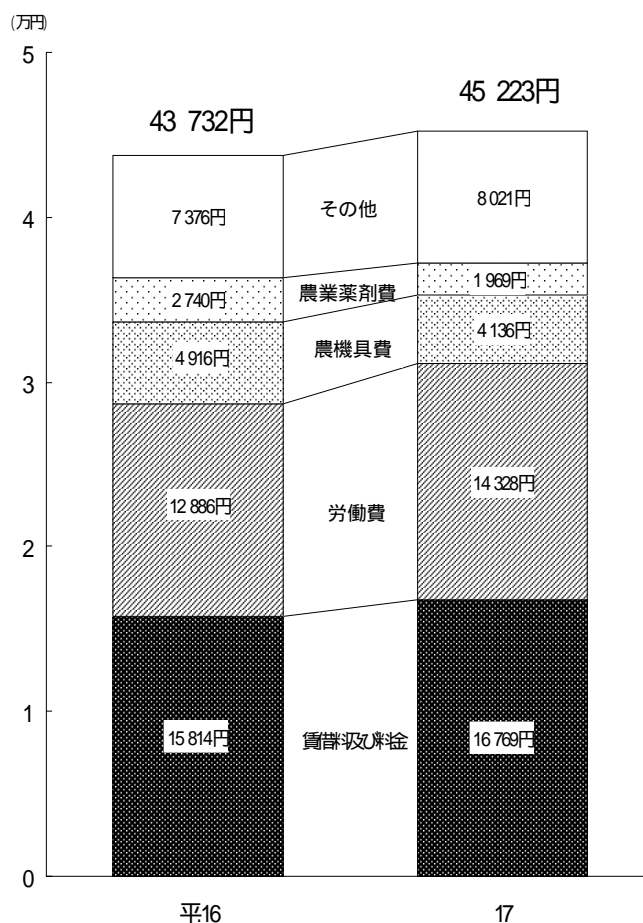
農機具費は4,136円で、前年産に比べ780円(15.9%)減少しました。

2 収 益

10a当たり粗収益は4万4,145円で、前年産に比べ1万2,992円(41.7%)増加しました。

これは、度重なる台風の襲来等により作柄の悪かった前年に比べ、収量が増加したためです。

図2 費用合計に占める主要費目(10a当たり)



統 計 表

【統計表の見方】

表中に用いた記号は以下のとおりである。

- 「 ↓ 」...減少したもの
- 「 - 」...事実のないもの
- 「 ... 」...事実不詳又は調査を欠くもの

【統計表】

1 生産費

区 分	10 a 当 たり				60 kg 当 たり			
	九州		対前年 増減率	全 国	九州		対前年 増減率	全 国
	平.17	16			平.17	16		
	円	円	%	円	円	円	%	円
物 財 費	30 895	30 846	0.2	33 246	9 668	18 190	46.8	11 209
種 苗 費	2 031	1 687	20.4	2 526	636	995	36.1	852
うち購入	1 841	1 627	13.2	2 162	576	960	40.0	729
肥 料 費	1 510	1 475	2.4	3 667	471	869	45.8	1 236
うち購入	1 492	1 467	1.7	3 638	465	864	46.2	1 226
農 業 薬 剤 費	1 969	2 740	28.1	3 487	615	1 616	61.9	1 176
光 熱 動 力 費	1 112	1 083	2.7	1 507	348	639	45.5	509
そ の 他 の 諸 材 料	2	61	96.7	103	0	36	100.0	35
土地改良及び水利費	680	544	25.0	1 981	212	322	34.2	668
賃 借 料 及 び 料 金	16 769	15 814	6.0	10 700	5 250	9 327	43.7	3 608
物件税及び公課諸負担	854	1 023	16.5	1 015	268	601	55.4	342
建 物 費	1 009	705	43.1	975	316	416	24.0	328
うち、償却費	717	589	21.7	770	225	347	35.2	259
自 動 車 費	741	745	0.5	1 223	232	439	47.2	412
うち、償却費	366	392	6.6	448	115	231	50.2	151
農 機 具 費	4 136	4 916	15.9	5 900	1 295	2 899	55.3	1 989
うち、償却費	3 374	3 976	15.1	4 216	1 056	2 344	54.9	1 422
生 産 管 理 費	82	53	54.7	162	25	31	19.4	54
うち、償却費	1	0	...	13	0	0	...	4
労 働 費	14 328	12 886	11.2	17 110	4 485	7 598	41.0	5 767
うち、家族	14 118	12 793	10.4	16 293	4 420	7 544	41.4	5 492
直 接 労 働 費	14 113	12 612	11.9	16 730	4 418	7 436	40.6	5 639
間 接 労 働 費	215	274	21.5	380	67	162	58.6	128
費 用 合 計	45 223	43 732	3.4	50 356	14 153	25 788	45.1	16 976
購 入 (支 払)	26 439	25 913	2.0	28 222	8 271	15 281	45.9	9 515
自 給	14 326	12 862	11.4	16 687	4 486	7 585	40.9	5 625
償 却	4 458	4 957	10.1	5 447	1 396	2 922	52.2	1 836
副 産 物 価 額	169	120	40.8	148	53	71	25.4	50
生 産 費 (副 産 物 価 額 差 引)	45 054	43 612	3.3	50 208	14 100	25 717	45.2	16 926
支 払 利 子	139	63	120.6	278	44	37	18.9	94
支 払 地 代	5 106	2 570	98.7	5 936	1 598	1 516	5.4	2 001
支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	50 299	46 245	8.8	56 422	15 742	27 270	42.3	19 021
自 己 資 本 利 子	2 094	2 007	4.3	2 040	655	1 184	44.7	688
自 作 地 地 代	6 877	7 652	10.1	6 451	2 153	4 513	52.3	2 175
全 算 入 生 産 費	59 270	55 904	6.0	64 913	18 550	32 967	43.7	21 884

2 作付面積 労働時間及び収益性

区 分	単位	10 a 当たり			
		九 州		対 前 年 率 増 減 率	全 国
		平.17	16		
				%	
作付面積（1戸当たり）	a	79.5	73.3	8.5	119.7
労働時間	時間	10.00	9.51	5.2	11.55
うち、家族	"	9.75	9.46	3.1	10.83
直接労働時間	"	9.85	9.32	5.7	11.31
間接労働時間	"	0.15	0.19	21.1	0.24
主産物数量	Kg	192	102	88.2	177
粗 収 益	円	44 145	31 153	41.7	42 103
主 産 物	"	43 976	31 033	41.7	41 955
副 産 物	"	169	120	40.8	148
所 得	"	7 795	2 419	-	1 826
家族労働報酬	"	1 176	12 078	-	6 665

注： 17年産の粗収益、所得、家族労働報酬については大豆取引期間が平成17年11月～翌年10月であるため、主産物価額が概数であり、確定値は追って刊行する「第53次熊本農林水産統計年報」に掲載します。

なお、主産物価額には大豆交付金及び担い手支援・良質大豆生産誘導対策による交付金を含めています。

【関連するデータ】

累年表（10a当たり）

単位：円、kg

	平.8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
物 財 費	21 522	24 683	26 296	30 511	31 697	29 596	31 435	30 873	30 846	30 895
労 働 費	31 216	25 014	25 291	19 857	17 547	17 608	16 695	15 397	12 886	14 328
全 算 入 生 産 費	69 477	65 515	69 852	64 234	65 039	62 087	63 662	61 398	55 904	59 270
収 量	261	236	218	195	255	249	276	176	102	192
粗 収 益	62 398	55 701	52 410	45 588	56 306	44 448	51 363	50 607	31 153	44 145
所 得	36 504	27 409	21 309	12 584	21 325	10 544	16 764	17 223	2 419	7 795

【調査の仕様】

1 調査の目的

農業経営統計調査の大豆生産費統計は、大豆の生産コストを明らかにし、農業行政（品目横断的経営安定対策、生産対策、経営改善対策等）の資料を整備することを目的としています。

2 調査の対象

本調査は、全国の販売農家（経営耕地面積30a以上、又は過去1年間の農産物販売金額50万円以上の農家）のうち、大豆を10a以上作付けし、販売した農家を対象に実施しました。

3 調査期間

この調査の期間は、平成17年1月から平成17年12月までの1年間となっています。

4 調査方法

農家による現金出納帳及び作業日誌への記帳（自計申告）と職員の面接による聞き取り調査を併用して取りまとめたものです。

5 調査戸数

98戸（集計戸数：90戸）

注：調査農家のうち、調査期間中に調査不能となった農家及び過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量に対し、調査年の収量の増減が70%以上であった農家を除いた農家を集計対象としたものです。

6 用語の解説

家族労働費とは家族労働時間に、「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業及び運輸業に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものです。

なお、16年産調査については建設業、製造業及び運輸・通信業の賃金データを用いたものです。

自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作目の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものです。

「収益性」の所得及び家族労働報酬の算出方法は、以下のとおりです。

(1) 所得 = 粗収益 - [生産費総額 - (家族労働費 + 自己資本利子 + 自作地地代)]

ただし、生産費総額 = 費用合計 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 1日当たり所得 = 所得 ÷ 家族労働時間 × 8 (1日換算)

(3) 家族労働報酬 = 粗収益 - (生産費総額 - 家族労働費)

(4) 1日当たり家族労働報酬 = 家族労働報酬 ÷ 家族労働時間 × 8 (1日換算)

本統計結果の詳細は、追って刊行する『第53次熊本農林水産統計年報』に掲載します。

【用語の図解】

						(所得)		(家族労働報酬)		
						利 潤	利 潤	利 潤	利 潤	
粗 収 益	主 産 物	資本利子・地代全額算入生産費	支払利子・地代算入生産費	生産費(副産物価額差引)	生 産 費 総 額	費 用 合 計	自己資本利子	自己資本利子	+	+
							自作地地代	自作地地代		
							支払利子			
							支払地代	+		
							労働費	家族労働費		
	副産物									

【問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部 経営・構造統計課 経営統計第3係

電 話：(代表) 096 - 353 - 3561 (内線4742)

(直通) 096 - 353 - 7567

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電 話：(代表) 096 - 353 - 3561 (内線4723)

(直通) 096 - 353 - 7556